

# 米原市独自の獣害対策の継続を



## 米原市民報

日本共産党米原市議団  
清水隆徳Tel52-1969  
藤田正雄Tel55-1128  
太田幸代Tel54-2286

http://www.jcp-maibarashigidan.com

# まいちゃん号「地域間運行」で1人2000円は高すぎる

前日の代表質問に続いて6月7日に一般質問が行われ、日本共産党米原市議団からは藤田市議が質問に立ちました。新たな地域公共交通ネットワーク「まいちゃん号」問題と鳥獣害対策について質問を行いました。

## 地域間運賃制

Q今までの「米原近江地区」を「まいちゃん号西地域」、「山東伊吹地区」を「まいちゃん号東地域」としている。今までどおり地域の固定化で本当に地域の一体化が進められるのか。

A相互に運行ができなかった地域をまいちゃん号の運行エリアを統一しました。相互の移動の利便性が向上し地域の一体化に寄与するものと考えています。

Q地域間での運行では、1人千円から2千円の地域間別運賃となっている。山梨県前山から米原市舎に「まいちゃん号」で行こうとすれば、1千500円。乗合で3人となった場合は、4千500円となり、メーター料金(4千200円)を超えてしまいます。公共交通としては高すぎるのではないか。

A乗合タクシー事業は、タクシーを利用したバス事業であり、乗り合いになった場合にメーター料金を超えることは当然あり得る。

Q今回の見直しで基本料金が300円から500円(ただし70歳以上は300円)に引き上げられた。その理由は。

A今回の制度見直しに合わせ、市内路線バスの利用者負担水準まで乗合タクシーの利用者の皆様にご負担いただくこととしております。

Q市外タクシーの助成制度が設けられる。75歳以上の高齢者や障がい者等に対して年間1万2千円の助成と

## なぜ引上げたのか

Q今回の見直しで基本料金が300円から500円(ただし70歳以上は300円)に引き上げられた。その理由は。

A今回の制度見直しに合わせ、市内路線バスの利用者負担水準まで乗合タクシーの利用者の皆様にご負担いただくこととしております。

Q市外タクシーの助成制度が設けられる。75歳以上の高齢者や障がい者等に対して年間1万2千円の助成と

## 身分証明による軽減を

Q市民は本当に便利なのか不安を持っている。一度に負担が大きい回数券方式より、身分証明の提示で軽減料金が適用される方法が妥当と考えるが。

A身分証明より料金を軽減する方法については、事務の煩雑化や料金の徴収ミスに繋がる懸念される。回数券による利用助成は、現行のまいちゃん号でも実施している。

Q今回の見直しは、市民の思いに答えられる内容か。

A今回は、利用者の声も直接聞かせていただき免許返納後に安心して利用していただける公共交通となるよう見直しを行い、充実を図ってきた。

## 鳥獣害対策について

### 畜産有効に使いたい

Qこの事業による鳥獣害防止の効果について。

A平成26年度から集落ぐるみの鳥獣害総合対策支援事業交付金制度を創設した。44の集落や団体等で当初計画の90%の集落が、侵入防

止柵の設置や緩衝帯の整備に取り組んでいただいた。その結果、農作物の被害額は平成26年度の260万円から平成27年度では120万円に削減された。

Q未実施自治会が隣接している、未実施自治会に被害が集中する。米原市全体で取り組むことが必要。

A毎年度、未実施集落に説明資料を送り集落説明会を開催し、啓発に努めていますが、高齢化や非農家件数が多いことなどの事情から合意が得られないこともあります。今後とも粘り強く説明していく。

Q今後の本制度の自治会への交付額は。多くの自治会では継続を希望されていますが。

A本制度の終期は平成30年度となり、平成28年度から取組まれた場合は最大で90万円となり、平成29年度からは最大で70万円、平成30年度からは最大で50万円となります。

## 通学路の安全対策は

Q通学路等の猿の出没・被害の状況と対応は。

A猿の出没については、各校園や林務課からの電話連絡により把握をしております。昨年度は下校途中の女子中学生が、猿に追いかけて引つかれるというところがありました。学校の職員や教育委員会がパトロールをしたり、猿を追い払う対応をしております。今後もスクールガードの協力も引き続き得ながら、児童生徒の安全確保に努めます。

## 雑感

前号で書いたように共謀罪で、与党は委員会採決を省略し、参議院本会議で中間報告をし強行採決を行った。公明党が長の法務委員会での強行採決を避けたとのこと。都議選への影響を考慮。何という見事な党利党略。国民の事は考えていない。都議選で結果を。